



壁付シングルレバー 混合栓

施工説明書

施工前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
この施工説明書は、別紙「安全上のご注意」と合わせてご使用ください。

このたびは、壁付シングルレバー混合栓をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

施工の前に…。

- 別紙「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 取付後の確認のために必ず止水栓を設けてください。

施工時について…。

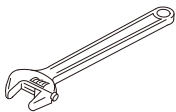
- 別紙「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

製品同梱明細について…。

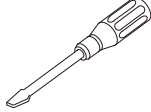
- 別紙「取扱説明書」の製品同梱明細をご参照のうえ、部材をご確認ください。

施工に必要な工具

●モンキーレンチ



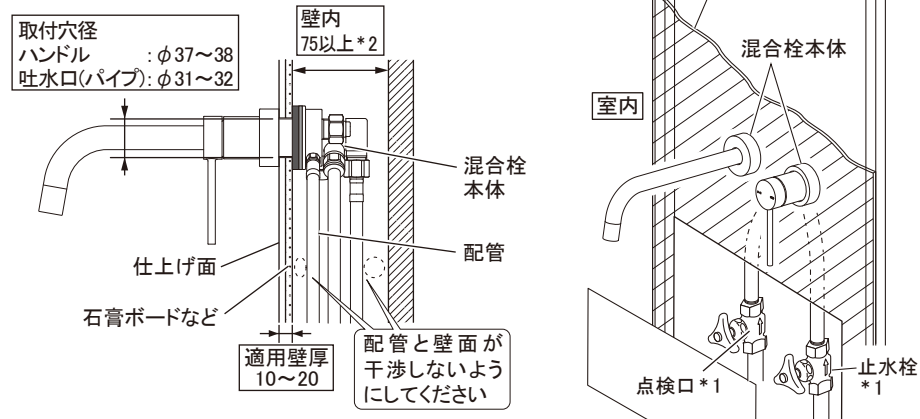
●マイナスドライバー



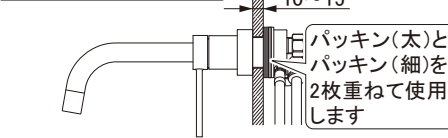
取付けの前に

- * 数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、元栓を閉めて取付作業を行ってください。
- * 取付作業を行う前に下記の事項をご確認ください。

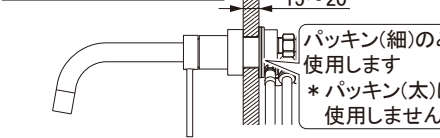
《取付条件》（単位:mm）



取付壁厚10~15の場合

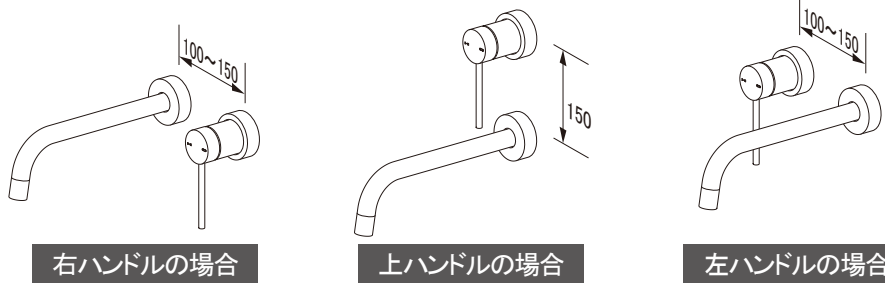


取付壁厚15~20の場合



《取付仕様》

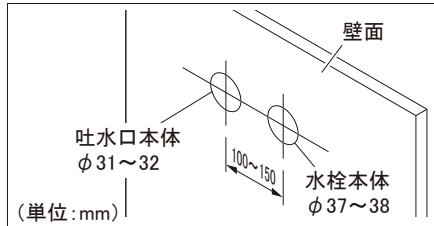
ご使用都合にあわせて、上ハンドル、右ハンドル、左ハンドルで設置可能です。
吐水口(パイプ)とハンドルの間隔は以下を参照してください。



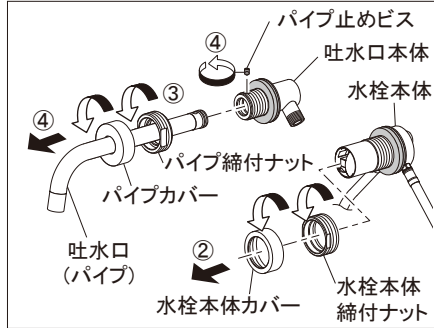
- *1 本品を取付ける際は、配管に止水栓(バルブ)を設置し、点検口を設けてください。
- *2 既設の壁に製品を設置する場合は、壁内120ミリ以上必要です。

取付方法

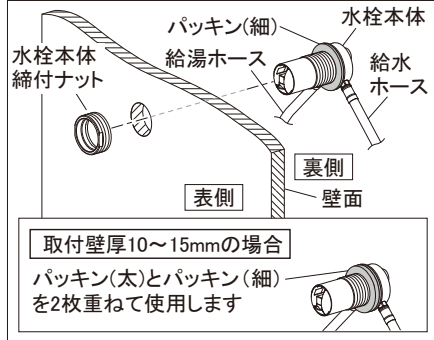
1. 壁面に吐水口本体と水栓本体を取付けます。



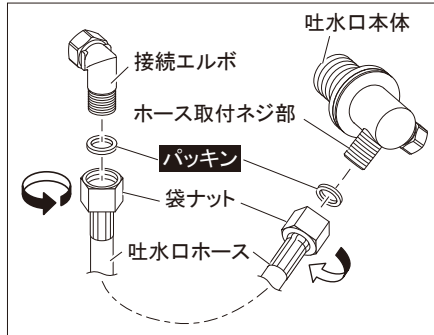
①壁面に本品を取付けるための穴を開けます。



- ②水栓本体から水栓本体カバー、水栓本体締めナットを外します。
- ③吐水口本体からパイプカバー、パイプ締めナットを外します。
- ④吐水口本体のパイプ止めビスを「六角レンチ(対辺2.5)」でゆるめてから、吐水口(パイプ)を抜取ります。

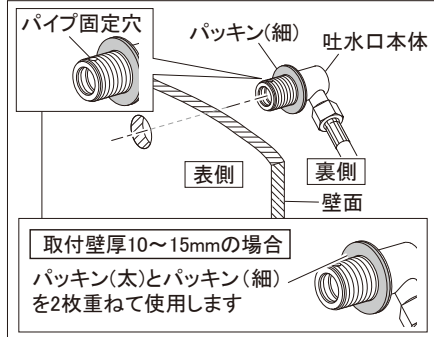


- ⑤水栓本体にパッキンが付いているのを確認してから、給水・給湯ホースが下を向くように向きを合わせ、壁面の裏側から水栓本体を取付穴に差込みます。
* 取付壁厚10~15mmの場合はパッキン(太)とパッキン(細)を2枚重ねて水栓本体に取付けてください。
- ⑥壁面の表側から水栓本体締めナットを「レンチ(対辺41)」などで締付けて固定します。

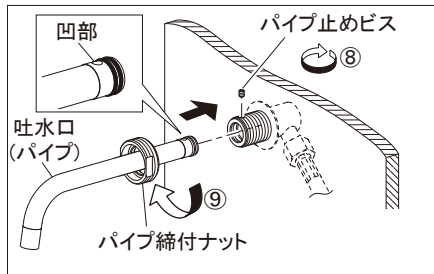


- ⑦吐水口ホースの一方の袋ナットにパッキンをはめ込み、接続エルボに「レンチ」などでしっかりと締付けます。
- ⑧吐水口ホースのもう一方の袋ナットにパッキンをはめ込み、吐水口本体のホース取付ネジ部に「レンチ」などでしっかりと締付けます。

必ず実行 吐水口ホースを取付けの際は、パッキンを必ずはめ込んでください。



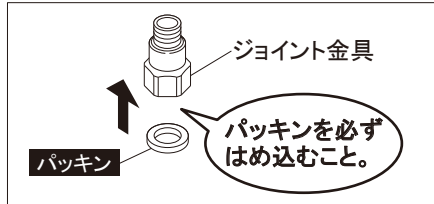
- ⑨吐水口本体にパッキンが付いているのを確認してから、パイプ固定穴が真上を向く状態で、壁面の裏側から吐水口本体を取付穴に差込みます。
* 取付壁厚10~15mmの場合はパッキン(太)とパッキン(細)を2枚重ねて吐水口本体に取付けてください。



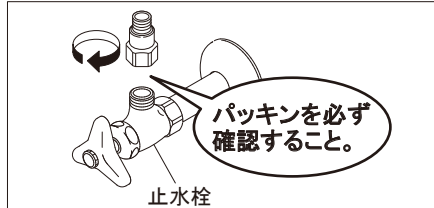
- ⑩パイプ締めナットを吐水口(パイプ)に通してから、吐水口(パイプ)の凹部を吐水口本体のパイプ固定穴に合わせて吐水口(パイプ)を吐水口本体の奥まで差込み、パイプ止めビスを「六角レンチ(対辺2.5)」で固定します。
- ⑪壁面の表側からパイプ締めナットを「レンチ(対辺39)」などでしっかりと締付け固定します。

必ず実行 吐水口(パイプ)を吐水口本体へ差込むときは、Oリングに傷を付けないように垂直にゆっくり差込んでください。

2. 止水栓と接続します。

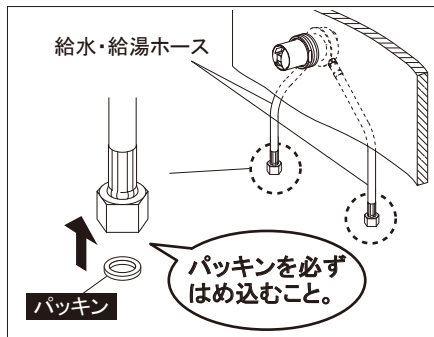


①ジョイント金具にパッキンをはめ込みます。



②ジョイント金具にパッキンが付いているのを確認してから、止水栓に「レンチ」などでしっかりと締付けます。

注意 パッキンが付いていないと漏水します。入れ忘れに注意してください。



③給水・給湯ホースにパッキンをはめ込みます。

取付方法(つづき)

2. 止水栓と接続します。(つづき)

④給水・給湯ホースをジョイント金具に「レンチ」などでしっかりと締付けます。

注意

ホースの(湯)水シールを確認して逆配管にならないように設置してください。

禁止

給水・給湯ホースは根元から急激に曲げないでください。ホースに傷が付き、強度が失われたり、ホースがつぶれて通水経路を狭め、十分な吐水量を得られない場合があります。また、漏水を起こす恐れがあります。

必ず実行

給水・給湯ホースの曲げ半径は、60ミリ以上確保してください。急激に曲げますと、ホースがつぶれて通水経路を狭め、十分な吐水量を得られない場合があります。

注意

給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

3. 吐水口ホースを接続します。

①接続エルボの袋ナットにパッキンをはめ込み、水栓本体のホース取付ネジ部に「レンチ」などでしっかりと締付けます。
* 吐水口ホースが取付けにくい場合は、図のように接続エルボをかたむけて取付けてください。

必ず実行

接続エルボを取付けの際は、パッキンを必ずはめ込んでください。

②カバーキャップを「マイナスドライバー」などで取外します。
* カバーキャップはなくさないように注意してください。

③ハンドルを差込んだ状態で、ハンドルを下げて止水位置にします。
④止水栓または元栓を開き、混合栓本体が止水状態で、壁内の配管の接続部に水もれがないか確認します。

4. ハンドルなどを取付けます。

①吐水口(パイプ)にパイプカバーを通してパイプカバーを取付けます。

②ハンドルを一度抜き取り、水栓本体カバーを取付けます。
③止水栓または元栓が閉まっていることを確認してから、ハンドルを差込みます。

④ハンドルを上げます。
⑤付属の「六角レンチ」で六角ビスをまわして締付けます。

⑥ハンドルを上げた状態でカバーキャップをはめ込んでから、ハンドルを下げます。

取付後の確認

- ①止水栓または元栓を開き、各部に漏水がないか確認をします。
漏水が発見された場合は、止水栓または元栓を閉め、漏水する箇所の施工をやり直してください。
- ②ハンドルを上げ、湯水の混合具合を確認してください。
低温しか出ない、または高温しか出ない場合は、別紙「取扱説明書」の「**こんな時には…簡単な点検と対処**」を参考に調節を行ってください。